

## ディスコグラフィアー収載

### ディスコグラフィアー 【2015No.34】 (HP 収載)

分類：CDR

作曲家：モーツァルト

曲名：魔笛ファンタジー

演奏：指揮：宇野功芳 ピアノ：宮下恵美 跡見学園女子大学合唱団

発売：インフラノイズ

No.：INF-5005

概要：



インフラノイズからマスタークオリティ盤の第 5 弾が出ましたので、購入しました。同社の説明によると以下のような解説がされています。

<http://www.infranoise.net/blog/>

「通常の CD ではコーラスの美しさを再生するのは無理だ。デジタル録音再生の最大欠点はサブハーモニクスが簡単に変形することにある。この理由でデリケートなハーモニーが主体である女性コーラスの再生は至難の業であった。魔笛の録音から再生不可能なハーモニーを引き出す挑戦が始まったのである。まず最初に CD 作成のための編集済み DAT マスターテープを聴いた。CD の印象とは大きく違って音質は許容範囲に入っているのではないかと感じた。しかしこの音質を保ったところで聴かれた方は失望されるだろう。一流の演奏と違って魅力は純粋性にしかないからだ。わずかな期待と共に未編集のマスターを聴いたところでショックを受けた。未編集マスターの音があまりにも素晴らしいのである。どうしてもこの音質を保ったマスタークオリティ CDR にしたい。なにしろ未編集マスターを今までの方法で複製すると、たった一度のコピーなのに素晴らしさは全く消えてしまうのだった。満足する結果が得られるのに一年かかった。宇野功芳さん

に CDR を送ったらすぐにでも販売しようということになった。しかし新たな問題も出てきた。今までのマスタークオリティは高級なオーディオ装置でなくて素直な音のラジカセなら充分良い音で再生可能だった。ところが今回の女性コーラスはそんなわけにはいかない。再生装置の音楽的能力を試すテスト盤になってしまった。最も再生の難しいソース、純粹音楽美だけが売り物の素人女性コーラスである。たった一回のデジタルコピーで純粹音楽美が跡形もなく消えうせるという事実！この結果から考えて貴方の再生装置のささいな部分が音楽美を破壊する可能性は充分有る。オーディオ再生の最終難関、天使の歌声が限りなく美しく響けば貴方の装置は完璧だ。」

また、このマスタークリティ盤の由来の説明については同社の資料から引用された記載があります。

<http://art.pepper.jp/archives/002291.html>

[http://www.pc-audio-fan.com/news/music-soft/20151028\\_77554/](http://www.pc-audio-fan.com/news/music-soft/20151028_77554/)

即ち、録音も再生も難しい合唱を対象に「音楽再生能力チェック CD」を目指したということのようで、インフラノイズから挑戦状をたたきつけられたという気持ちです。当方の装置も、GPS クロックやリベラメンテシリーズのインフラノイズ製品に加えて、Enigma の Sopranino を装備してグレードが上がったと自負していますので、逆にこの「音楽再生能力チェック CD」と称するものを評価してやろうという気持ちが湧いてきました。

さて到着後、EMT981 のプレイヤーで音出しをした瞬間にこれはもう通常の CD とは別の次元であると感じました。まるで 11.2MHzDSD 録音の音源を聴いているような実在感が聴き取れるからです。この年代の女性特有の若々しい個々の歌い手の声の質感の、しかも一人一人の声の違いが聴き取れるほか、ステージの空間表現が素晴らしく、個々の歌い手の位置関係が手に取るように分かります。デジタル録音でももともとここまで録音できており、CD 化のプロセスでも努力すれば録音された鮮度を維持できるということが分かりました。「音楽再生能力チェック CD」に対して、パワーリベラメンテなどを投入してきたことと、この夏以来 Enigma の Sopranino を追加してきたことが、この CD の評価を的確に実施できたことに効いてきているものと思われま

以上